

西大和つうしん

2019年7月号

No.445



金剛山をバックに赤く染まる葛城山《2019.5.19》

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

西大和つうしん

第445号(2019年7月号)

【目次】

7月度山行計画.....	1
8月度山行計画.....	2
7・8月度カレンダー.....	3
山行・行事等参加メモ.....	4
・例会山行2 《5/19》 金剛山地 大和葛城山(上田).....	5
・自主山行 《5/23-25》 妙義・榛名山域 妙義山(野路・橋本).....	6
・例会山行3 《5/26》 鈴鹿山脈 雨乞岳(船江).....	8
・例会山行1 《6/2》 金剛山地 大和葛城山クリーンハイク(勝尾).....	9
・自主山行 《6/5-7》 四国の山 剣山～三嶺(橋本・岩田・中).....	10
・室内例会だより(5/29).....	13

7月度山行計画

～アジサイの花咲く摩耶山へ、大展望も楽しめます!!～

例会山行1 六甲山系 《摩耶山》 702m

【日程】7月7日(日) (L藤井)

【集合】JR王寺駅 7:30 (7:40大阪行に乗車)

王寺 7:40⇒8:13 西九条 8:23⇒(阪神)⇒8:58 三ノ宮 9:08⇒(地下鉄)⇒9:10 新神戸

【コース】新神戸駅～(20)～布引の滝～(40)～紅葉茶屋～〔トゥエンティクロス(50)〕～東門～(60)～摩耶山～〔青谷道(35)〕～行者茶屋～(60)～王子公園駅

※ 時歩行間：4時間30分

※ 本山行は、体験山行の対象です。お知り合い等で登山に興味ある人がいらっしゃいましたら、是非お声掛けをお願いします。

～のんびりハイキングです～

例会山行2 奈良県北部 《龍王山》 586m

【日程】7月14日(日) (L上田)

【集合】JR万葉まほろば線 柳本駅 9:30

【コース】柳本駅～崇神天皇陵～〔崇神ルート〕～龍王山山頂(南城跡屋敷、北城跡)～〔長岳寺ルート〕～柳本駅

※ 歩行時間：約6時間 歩行距離：約10km

8 月 度 山 行 計 画

～竜門山地の主峰、美しい山容の竜門岳へ！！～

例会山行1 竜門山地 《竜門岳》 904m

【日 程】 8月25日(日) (L勝尾)

【集 合】 上牧役場前駐車場 7:00

【コース】 簡易水道施設駐車場～(10)～竜門滝～(30)～林道終点～(40)～二股～(50)～竜門山～(30)～三津峠～(35)～竜門山～(30)～二股～(25)～林道終点～(10)～駐車場

※ 歩行時間：約4時間20分

※ 本山行は、体験山行の対象です。お知り合い等で登山に興味ある人がいらっしゃいましたら、是非お声掛けをお願いします。

★7月・8月の夏山自主山行予定

- 7月16日(火)～20日(土)：L野路
薬師岳～五色ヶ原～室堂(北アルプス)
- 7月14日(日)夜～17日(水)：L藤井
白馬三山(北アルプス)
- 7月31日(水)～8月3日(土)：L島崎
立山連峰～劔岳(北アルプス)
- 8月10日(土)～14日(水)：L杉森
雲ノ平～三俣蓮華岳～黒部五郎岳～薬師岳(北アルプス)

西大和山の会 カレンダー

7 月			8 月		
1	月		1	木	
2	火	県連理事会	2	金	
3	水		3	土	
4	木		4	日	
5	金		5	月	
6	土	テーピング講習会:大和郡山市市民交流館 13:30~	6	火	県連理事会
7	日	例会山行1《摩耶山》(藤井)	7	水	
8	月		8	木	
9	火		9	金	
10	水		10	土	
11	木		11	日	
12	金		12	月	
13	土		13	火	
14	日	例会山行2《龍王山》(上田)	14	水	
15	月		15	木	
16	火		16	金	
17	水		17	土	
18	木		18	日	
19	金		19	月	
20	土		20	火	
21	日		21	水	西大和つうしん原稿締切
22	月		22	木	
23	火		23	金	
24	水	西大和つうしん原稿締切	24	土	
25	木		25	日	例会山行1《竜門岳》(勝尾)
26	金		26	月	
27	土		27	火	
28	日		28	水	7・8月度室内例会
29	月		29	木	
30	火		30	金	
31	水		31	土	

山行・行事等参加メモ

No	氏名 (入会順)	6/26	7/6	7/7	7/14	8/25	
		室内 例会	県連 テーピング 講習会	例会1 麻耶山	例会2 龍王山	例会1 竜門岳	
1	(窪田)						
2	都築						
3	藤井		○	LO			
4	(石田)						
5	島崎						
6	村田						
7	林						
8	勝尾					LO	
9	杉村						
10	橋本						
11	亀高						
12	船江						
13	野路						
14	中						
15	杉森						
16	上田				LO		
17	永井						
18	川田						
19	岩田						
20	佐々木						
21	玉野						
22							
合 計							
緊急連絡先							
HP 編集者							

L:リーダー、○:参加、◎:車

※室内例会時点での参加予定であり、その後変更されることがあります。

山行報告

例会山行2

金剛山地 **大和葛城山** 959m

【日 程】5月19日(日) 晴れ時々曇り

【参加者】L島崎・SL野路・林・橋本・船江・中・杉森・上田・岩田(9名)

【コース】葛城ロープウェイ乗り場(8:00)～葛城山頂(9:50/11:00)～青崩道(標高 600m 地点) 引返し(12:30)～葛城山頂(14:00)～ロープウェイ乗り場(15:30)

当初の出発地は水越峠登山口を起点に葛城山頂往復し、金剛山の太尾塞跡往復の歩荷訓練のはずだったが、葛城山のツツジが満開で見頃を迎えており、地元では花見客が増えることを警戒し近隣の交通渋滞、混雑を避けるため違法駐車取り締まりを行っていた。登山者がよく利用する水越峠一帯もこの日は駐車禁止になっており車は止められない。

結果、ロープウェイ乗り場から登るコースに変更、約1時間遅れて出発。一目百万本と言われるツツジを目指しロープウェイに乗る人、歩く人、人人人であふれている。8時、北尾根登山口から山頂へ向かう。歩荷訓練の為ザックは約10キロ、肩、腰、足に微かな重みを感じながら歩き出す。初夏を感じる青葉、薄紫の藤の花、空木の白、ツツジのピンク色、赤、時折吹く涼しい風の後押しされ、急登を上っていく。約2時間で山頂、一面真っ赤に染まるツツジを眺めながら、ちょっと早めの昼食。11時、キャンプ場横を過ぎ、青崩道天狗谷方面へ向かう。1時間30分ほど下ったろうか沢の音が聞こえてきた。去年の台風21号で倒木、沢の崩壊などで荒れている。ここは標高600m地点、下山は可能だが無理せず来た道を引き返すことにする。再び山頂へ戻り、14時、櫛羅の滝方面へ下る。



このコースも度重なる台風の影響で登山道は崩れ、荒れている。乾燥した土は滑りやすく、V字にえぐれた道に木の根が張出し邪魔をする。ひたすら足元に注意しながらの下山で、周りを見回す余裕もない。だんだん足が疲れてきて重い。15時30分無事下山。ロープウェイ乗り場には相変わらず山頂に向かう人が並んでいる。駐車場へ入る車もまだ渋滞していた。

今日1日振り返ると①予定コースを変更、②人出の多さにびっくり、③満開のツツジが見事なこと、④度重なる台風で荒れた登山道。予想外の出来事に遭遇し、いつの間にか歩荷訓練山行だったことを忘れていた。(記:上田雅子)

自主山行 妙義・榛名山域 妙義山（相馬岳） 1,103.8m

【日程】5月23日（木）～25日（土）

【参加者】L 島崎・SL 野路・橋本・中（4名）

5月24日（金） 晴れ

【コースタイム】ひしや旅館(6:50)～妙義神社白雲山登山口(7:05)～辻(8:05)～見晴台(8:50)～背ピシ岩(9:15)～キレット(10:00)～相馬岳(11:07/40)～堀切(13:25)～妙義神社(15:25)

日本三大奇景の一つに選ばれている妙義山。山域は大きく表妙義山は複数のピークが連なる。見晴、大覗き、天狗岩、最高峰の相馬岳のピークが連なる白雲山と、鷹の戻しの頭、東岳、中ノ岳、西岳のピークからなる金洞山に分かれる。コースは切り立った奇岩や鎖場が続き、危険箇所が多く安全の為、2日に分けて縦走することになった。

初日は白雲山の相馬岳から堀切まで進み、そこから中間道の一般登山道を下る。妙義山は普通の山とは違って、奇岩奇峰の山容で前から一度は登ってみたい山の一つであった。前日妙義神社の長い階段を登り、「登山の安全祈願」をお願いしたが、今日もまた「安全祈願」をして快晴の中、白雲山登山口より入山。暫く進むと大の



字の手前に最初の鎖場が現れる。2段 15mの鎖。大の字の白いオブジェからは展望が良く一気に登ったことが分かる。大の字から奥の院、奥の院からは本格的な鎖場の連続となる。垂直に近い鎖場、ヒビリ岩の鎖、2段 30mの鎖場が何度も続き、天狗岩までは鎖の連続である。天狗岩を過ぎると暫く普通の痩せ尾根歩きとなり、白雲山の中で一番高い相馬岳で昼食タイムとする。

相馬岳から一気にバラ尾根に激下り・・・バラ尾根はバラのトゲのようなピークが幾つもあり激下り、激登りの連続で幾つピ

ークを越えたかも分からないほど・・・やがて堀切に着く。堀切からは中間道を下り、妙義神社へ戻る。中間道は落葉樹が多く、秋には錦絵のような美しい紅葉に染まるのではないだろうか。

妙義山は想像していたのとは少し違っていた。奇岩奇峰の岩場と鎖場の連続の山と思っていたが、自然な痩せ尾根歩きや、激下りと激登りの連続で体力勝負の山であった。

（記：野路政子）



5月25日(土) 晴れ

【コース】石門入り口登山口(8:20)～石門巡り～堀切への分岐(10:00)～堀切(10:20/30)～鷹戻ピーク(11:40/12:05)～東岳(13:05)～中之岳(13:25)～中之嶽神社(14:30)

★榛石門巡り



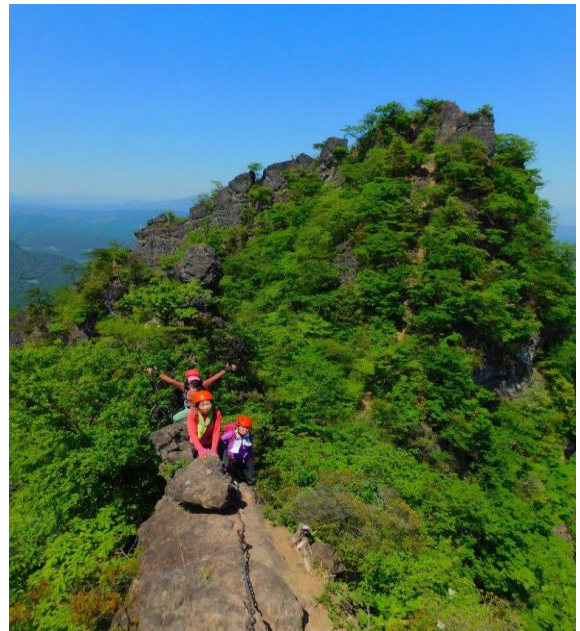
石門登山口から入り石門巡りをした。アーチ状になった大きな石門は圧巻である。岩場もあるが鎖が付けられており、また、岩を削り階段状に足場を作っているの注意して歩けば大丈夫。「カニのたてばい、よこばい」と名称が付けられている岩場もある。巨大な岩が山道を覆いかぶさるようにそびえ立つ様子は、迫力満点。奇岩、奇石を楽しんだ。

★堀切～中の岳

この山の最大の難所と言われている鷹戻しを通過し東岳、中の岳を歩く。どの山もすごい急登、急下りが続く。鷹戻しでは長い鎖場と、長い梯子を頭まで登る。足のスタンスが浅く、また、手のホールドも少ない。1箇所、手も足も使えるところがほとんどなく、2本の鎖を握り体を引き上げて登った。下りでは垂直の所もあり大変だった。登山道も痩せ尾根で両側は切れている。非常に危険なトラバース道もある。慎重に慎重に上り下り、危険なところは鎖を絶対離さず確保して歩いた。本当に緊張がずーっと続く山行だった。

今回、アクシデントなく下山でき本当に良かった。富岡市、下仁田町の市街地を見渡せ、雄大な浅間山の素晴らしい眺望、かわいい花、青々とした新緑、山行を終えてみれば1,000m程の山なのに魅力いっぱいの山だなあと考えた。(記:橋本紀子)

今回、アクシデントなく下山でき本当に良かった。富岡市、下仁田町の市街地を見渡せ、雄大な浅間山の素晴らしい眺望、かわいい花、青々とした新緑、山行を終えてみれば1,000m程の山なのに魅力いっぱいの山だなあと考えた。(記:橋本紀子)



例会山行3

鈴鹿山脈 雨乞岳 1,238m

【日程】5月26日(日) 晴れ

【参加者】L 杉森・SL 杉村・亀高・船江・上田(5名)

【コースタイム】武平峠駐車場(8:00)～登山口(8:10)～クラ谷分岐(9:05)～七人山(10:12)～東雨乞岳(11:05)～雨乞岳(11:21)～杉峠(12:09/47 昼食)～コクイ谷分岐(14:00)～クラ谷分岐(15:40)～武平峠登山口(16:45)～武平峠駐車場(16:55)

鈴鹿セブンの中で、まだ経験なく楽しみにしていた雨乞岳。この日はまだ5月なのに、30℃超えの猛暑予報。この時点で、水切れを予測しておくべきだった。

上牧役場前駐車場を6時出発。到着した8時には、武平峠の駐車場は満車状態で、仕方なく路駐する。登山口は武平トンネル抜けてすぐの橋の横からで、わかりやすく標識もあった。最初は緩やかな登りで、美しい緑鮮やかな自然林の中をクラ谷の三叉路の分岐までは余裕だった。この時期の沢にはヒルが出る！と警戒してジョニーを持参していたが、連日



の晴天で乾いた地面にヒルと出会うことはなかった。七人山は最初のコースに予定してなかったが、デポして往復。斜度はキツかったが約7分で登れ、山頂は展望は無いが広く、雑木林が美しかった。東雨乞岳までは笹も深く急登で、行程の中で一番辛かった。可愛いハルリンドウに励まされ、氷をSさんから頂き口に含むと本当に生き返った。

東雨乞岳山頂からは、御在所、鎌を望む大展望が開けて気持ち良く、これから向かう雨乞岳まで伸びる気持ちの良い笹尾根の道が続くのが見える。笹尾根をひと登りして、雨乞岳山頂。狭く眺望もあまり無かったが、雨乞の行事が行われていたという小さな池があった。

急な尾根と深い笹を藪こぎしながら下ると、立ち枯れたシンボルツリーの杉が現れ杉峠到着。ここは分岐になっていて、昼食をとっていた方々はそれぞれイブネや甲津畑へ向かって出発し、我々はコクイ谷へ。歩きやすく美しい雑木林の道中、イワカガミの群生に喜び鉦山

跡の石垣に歴史を感じ、何度となく繰り返す渡渉の末、コクイ谷分岐へ到着。

コクイ谷を南下するクラ谷分岐までは、道を探しながらの長丁場だった。地図にも迷マークがあり覚悟はしていたが、メンバーの持参シュリングを3本繋げて岩を下る渡渉も経験しスリリングだった。数えきれない渡渉と迷い確認しながらの下山。クラ谷分岐まで戻るとホッとした。暑すぎて、アマゴが泳ぐ透き通った冷たい川の水で、何度か顔を洗った。

持参した2.5Lの水も飲み干してしまい、水切れを経験。私自身の大きな反省点だった。雨乞岳は一般向けとあるが、私には中級者向けに思えたハードで楽しい山行だった。



(記:船江照代)

例会山行1（県連主催クリーンハイク）金剛山地 大和葛城山 959m

【日 程】6月2日（日） 曇りのち小雨

【参加者】L 島崎・SL 林・藤井・村田・勝尾・野路・永井・岩田・佐々木・玉野（10名）

【コース】葛城ロープウェイ駐車場(10:05)～〔北尾根コース〕～展望台(10:50)～ダイトレ分岐(12:20/50 昼食)～葛城山山頂(13:40)～〔櫛羅の滝コース〕～櫛羅の滝(15:25)～葛城ロープウェイ駐車場(15:45)

8時30分に上牧駐車場に集合し、一般参加のYさんを近鉄五位堂駅に迎えに行った。手違いがあり御所駅で長い間待っておられたようで、参加せずに帰られた。今回は残念ながら会員だけのクリーンハイクとなった。昨年は赤ちゃんを背負って活躍されたTさんご夫妻と、今回のYさんも参加され賑やかな中で行われたが、背負われていた赤ちゃんも、丁度1年経ち大きく成長している事と思う。また、当日まで色々準備をして頂いたリーダーのKさんも、体調不良のため山行は無理で、五位堂の駅でお別れし、参加者10名で葛城山へ。



登山口駐車場で降車し出発準備をして、ロープウェイ乗り場横の道から吸殻や飴の袋等、小さなゴミを拾いながら北尾根登山口に向かう。ロープウェイ乗り場は山ツツジの季節も終わりひっそりとしていた。北尾根登山道の厳しい坂をゴミを探しながら登る。時々小さなゴミに気付く程度で余り落ちていない中、ポリ袋にゴミをまとめて入れ、登山道沿いの草地に捨ててあるゴミを発見。～いわゆるポイ捨てと言われるものか～草木が袋を破って中まで伸びており、回収しにくそうだった。小さなゴミには気付くものの、ペットボトルや缶には気付かなかった。しかし、後を歩いているメンバーの回収袋の中にはペットボトルが沢山入っていた。飲み終わった後、道路脇の草の中に投げ捨てているのだろう。「自分のゴミは自分で持ち帰る」という意識は、最近大分浸透してきているように思っていたが・・・

今回は登山道沿いの杉や桧の植林の手入れが、行き届いているのが際立っていた。林の中の下草も綺麗に刈られ、枝打ちされて真っ直ぐに伸びた針葉樹林がとても綺麗だった。手入れされてからまだ余り日が経っていないのかも知れない。林業関係の方々か掃除された後だったのかも？ダイトレ分岐で昼食中、曇っていた空から雨がパラパラ降り出してきた。まだ雨具を着ける程でもなくザックカバーを付け出発する。分岐からの延々と続く長い階段を登り山頂へ。下りは雨も降っているためゴミ拾いはしないことになった。下りの櫛羅の滝コースは、一昨年の台風による被害で荒れている。整備もされてきているが、登山道が深くえぐられて、階段も崩壊している箇所も多く、台風時の土砂崩れの凄さを想像する。

下りにくいコースを細心の注意を払いながら、駐車場を目指す。駐車場近くの東屋で拾ったゴミを分別する。昨年と比べ随分少なくなっている。昨年のように林業関係者のものであると



思われる大きなゴミは無かった。山で出会う登山者に、ティッシュを配りながらゴミ拾いしていると、「ご苦労さまです」「有難う」と声が掛かる。拾っているのを見てもらうのも、ゴミを減らす一つの行動だと思った。

(記:勝尾栄美子)

※ゴミの量：	燃えるゴミ	1.3kg
	燃えないゴミ	1.1kg
	ペットボトル	0.6kg
	缶	0.4kg
	合計	3.4kg



反省点：

昨年の本会のクリーンハイクも葛城山で実施したが、集合場所を登山口に近い近鉄御所駅としたため、奈良県内の一般参加者から交通の便が悪いとのご意見を戴いたこと、御所は駅前広場が狭く車で一般参加者を迎える駐車場所がなかったことなどから、本年は近鉄五位堂駅に集合場所を変更し、県連にも今年度の行き先と共にご連絡していた。また、当会 HP には、約 2 か月前から必要な情報（清掃登山場所、集合場所、集合時間など）を掲載して参加を呼びかけていた。県連から一般参加者の情報を戴いたため、近鉄五位堂駅で旗を広げてお待ちしたが、近鉄御所駅で待っておられたが、会えずに帰られたと県連に連絡があった。他の一般参加者も来られず、今年は残念ながら会員のみ参加者となってしまった。

反省点として、県連に行き先を連絡した際に、集合場所を変更することを特には強調していなかったことが挙げられる。ご本人には当日中にご連絡を差し上げ、お詫びさせて戴いた。個人的にも体調不良のため、急遽、L を交代して戴いたことも大きな反省点である。

HP での募集に参加者が来られなかった理由として、本会 HP の URL が 4 月から変更となり、本会 HP にアクセスしにくい状態となったこともあったかも知れない。(記:亀高茂)

自主山行 四国の山 剣山 1,995m～三嶺 1,893.6m

【日 程】6月5日(水)～7日(金)

【参加者】L 野路・S L 島崎・橋本・中・岩田 (5名)

6月5日(水) 晴れ

【J-タイム】見の越駐車場(13:00)～リフト西島(14:00/15)～大剣神社(14:40)～剣山頂上ヒュッテ(15:05)

午前 5 時佐味田川駅出発。明石海峡大橋～淡路島～鳴門大橋～徳島に渡った。時間に余裕があるので、淡路島では高速を利用せず海岸線の地道を走り、剣山の登山口までドライブを楽しんだ。しかし経路的に大回りとなり、目的地の見の越駐車場に着いたのは、予定より少し遅れて 12 時 45 分頃となった。

★剣山登山

登山口は大剣神社の階段の参道から入る。階段を上ると剣神社があるので「今回の縦走



を無事終わることが出来ますように」とお願いして山道へと歩き始めた。1時間ほどでリフト西島駅に到着。この辺りからの眺望がすばらしい。明日から歩く稜線がきれいに見える、遥か遠くには目指す三嶺を望むことが出来た。大峰の山様を思わせるような雄大な山並みが見渡せて本当にきれいだった。ここからは剣道コースを登り、1時間弱で剣山本宮宝蔵石神社横に建つ剣山頂上ヒュッテに着いた。全体に道標があり登山道も整備されているので快適に歩くことが出来た。



夕食時、宿の人が「7時頃頂上からきれいな夕日が見られますよ」と教えてくれた。剣山頂上は明日の縦走の際に通るので行かなかったが、宿から頂上まで2、3分なので眺めることにした。やはり2,000m級の山。風は強く寒かったが、きれいな夕日を見ながら明日重い荷物を背負って歩くことの不安を抱きながらも、山行に参加できたことをうれしく思った。

★剣山頂上ヒュッテ

親切に対応してくださり、とても感じのいい山小屋だった。内部は改装後なのかとてもきれい。

- ・入浴可能(石鹸類は使用禁止)・寝具は白いシートに包まれておりとても気持ちが良い。
- ・朝食・・・4時30分～ 縦走する登山者にはありがたい。
- ・弁当・・・おにぎり1個から注文可能。水、お湯は無料。

(記:橋本紀子)

6月6日(木) 晴れ

【コースタイム】剣山ヒュッテ(5:10)～剣山山頂(5:13)～次郎笈(6:15)～丸石(7:25/45)～高ノ瀬(9:00)～昼食(10:10/40)～平和丸(11:15)～白髪避難小屋(11:45/12:25)～カヤハゲ(13:25)～三嶺山頂(14:55/15:30)～三嶺ヒュッテ(15:35)



2日目は天気予報通り望みの快晴だ。今回のメインコース剣山～三嶺まで17kmの縦走路に行く。剣山ヒュッテを後にして期待に胸を弾ませる。剣山山頂(1,955m)～吊り尾根まで強風の洗礼を受ける。尾根を下ると風も止みほっとする。

次郎笈(1,930m)まで笹原の中を行くと稜線がとても美しい。今日の到達点三嶺山頂は遥か彼方にある。笹原と枯木の景色が「大台ヶ原に似ているね」、「大峯に似ているね」と言葉を交わしながら行く。ここは四国の山、青い空と360度どこまでも見渡せる絶景が続く。

丸石～高ノ瀬と緩やかなアップダウンを繰り返しながら、いくつかのピークを越え、気持ちの良い稜線歩きを楽しむ。高ノ瀬を過ぎるとピンク色のミツバツツジが目を楽しませてくれる。オオヤマレンゲの群生地もあり保



護地区になっていた。まだ時期は早いですが S さんが蕾の一つ見つけた。途中昼食を取り、又、笹原に行く。だいぶ三嶺が近づいてきた。同じ景色だが通る道、角度、高さにより変化に富み飽きることがない。只々感嘆の声。良い天気になったことに感謝する。白髪避難小屋に到着して、水を調達するため水場に降りる。道案内では 50m とあったが、高低差が 50m なのか、いやもっとあるかもしれない急降下で結構きつかった。水を担いでの三嶺山頂までの残り 5 km がとても堪えた。大岩、鎖場、急登、三嶺までそう容易ではなかった。三嶺山頂(1,894m)に到着する。皆で思わずハイタッチして喜んだ。三嶺ヒュッテまであと 5 分、赤い屋根の小屋と池が絵になる。三嶺ヒュッテに

到着する。

約 10 時間の行程で本当によく歩いたものだ。小屋泊まりの荷物を担いで長距離を歩いたのは、私にとり初めての経験であり、中々体に堪えたが満足感はひとしおだった。水分の配分、荷物は何を持っていくか、詰め方、雨の対応等、又、下りのゴロ石では荷物に振られ何度も転びかけ「足のつま先に力を入れて」といろいろ教えて下さり、経験の浅い私にとり実りの多い山行となった。リーダーとメンバーの方々方に心より感謝します。

(記:岩田礼子)



6月7日(金) 雨

【コース】 三嶺ヒュッテ(6:30)～ダケモミの丘(7:35)～林道合流地点(8:30)～名頃新登山口(9:05)

朝起きて外に出ると昨日とは打って変わり、雨が降り風も強く時折突風も吹き、最悪のコンディションの下での出発となった。小屋を出ると突風に煽られ足をふんばりながら歩く。稜線直下は石や岩が多いが、しばらくすると濡れそぼったツルギミツバが美しい雑木林になり風も治まる。登山道がぬかるみ滑りやすく、雨は時々強く降り、枝から滴り落ちる中を慎重に下る。樹林帯に入ると太く大きなモミの木の林、その中に鹿よけネットを巻いた若木もあり、良く管理されている。途中の道標に「ダケモミの丘」とあり名前がわかる。林道合流点でホッとしたが、その後の下山道も急勾配で滑りやすく、気が抜けない下り道を 30 分ぐらい歩くと登山口に着いた。三嶺避難小屋は水場が遠いのが難点であるが、ロフトになった二階のある大きい小屋だった。掃除が行き届いて銀マットも数枚置いてありなかなか快適である。このコースは登山口に休憩所・駐車場・トイレがあり、登山道もしっかりしており道標も新しく人気のコースようである。

(記:中昌子)

室内例会だより

【日 時】2019年5月29日(水) 19:30~20:30 事務所

【出席者】藤井、島崎、村田、林、勝尾、杉村、橋本、亀高、中、杉森、上田、永井、佐々木、玉野、都築(記録)

1. 山行計画

- 6月3日(日) 例会山行1 県連主催クリーンハイク 金剛山地《葛城山》959.2m……………L 亀高
- 6月16日(日) 例会山行2 台高山脈《白猪山》819.4m……………L 杉村
- 6月23日(日) 例会山行3 鈴鹿山脈《国見岳~御在所岳》……………L 島崎
- 7月7日(日) 例会山行1 六甲山系《摩耶山》702m (体験山行) ……………L 藤井

2. 山行報告

- 4月21日(日) 例会山行3 六甲山地《地獄谷~荒地山 649m~七兵衛山 462m》L 中……………6名
- 5月4日(土)~6日(月) 自主山行 後立山連峰《唐松岳 2,695.8m》L 島崎……………3名
- 5月12日(日) 例会山行1 県連主催《ハイカーのための救急・搬出講習会》L 都築……………12名

★県連より

- ・自然保護委員会主催「気象講習会~山で得する気象の活用~」2019年6月27日(土)13:30~16:00 大和郡山市市民交流館、参加申込み締め切りは6月10日(月)までに島崎さんまで。
- ・女性委員会主催「テーピング講習会」2019年7月6日(土)13:30~17:00 大和郡山市市民交流館、参加申込み締め切りは、6月24日(月)までに藤井さんまでお願いします。(男性会員の参加もOKです。)

★本会より

- ・自主山行(二上山体力づくり)は従来の第2・第4金曜日から、6月より第2金曜日・第4は木曜日に変更する。
- ・当会のホームページの山行報告ページのうち、2009~2014年度の古い報告について、パソコンやスマートホン等で開くと、すぐに表示されず白い画面が出て、しばらく待たないと表示されない現象が発生している。原因は、古い時代の報告で旧ホームページサーバー会社(Geocities)が提供するツール(飾り文字や背景絵柄など)を使用していたページについて、表示までに時間がかかることが判明している(古い年度ほど高頻度)。藤本さんに対策を検討して戴いており、対策が明確になり次第、HP管理者の方で順次修正していくつもり。それまでの間は、古い山行報告を見るのにご不便をかけるが、情報が消えたわけではないので、しばらく待っていただきたい。
- ・自主山行のリーダーは参加者を募集する/しないに関わらず、山行前には山行計画をHP管理者に連絡して会員のページの「自主山行計画」欄に掲載し、山行後には実施の有無と参加者数等を連絡して「自主山行履歴」欄に実績を掲載する。この情報は、年度末の総会資料の自主山行の実績に反映されるので、自主山行のリーダーは自主山行計画と実施後の結果について、ホームページ管理者に報告して戴きたい。

なお、自主山行とは本会会員がリーダーとなって会員2名以上が参加する山行をいう。従って、会員が家族や友人と行く山行などは対象外(これらは個人山行)。また、自主山行は山行報告としてHPに掲載する/しないは、リーダーが自由に決定できる。

以上

西大和つうしん

第 445 号（2019 年 7 月号）

2019 年 6 月 26 日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 杉森英二

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会
〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32

窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<https://nishiyamatoyama.sakura.ne.jp/>